日本創造学会第41回研究大会は石川県能美市の北陸先端科学技術大学院大学で、21019年9月28-29日に開催されます。今年度の特集は「創造性とイノベーションの新展開」です。ご存知のようにイノベーションの研究は創造性の研究と密接に関係しています。イノベーション研究は技術革新といわれたプロダクトイノベーションから、そのプロセスの改善を目指すプロセスイノベーションに急激に発展してきました。さらにそれを実行する人々のやる気を助長するマインドイノベーション研究が注目されています。そこで東京大学名誉教授の丹羽清氏に「イノベーションへの戦略と挑戦」、北陸先端科学技術大学院大学名誉教授（本会理事）の國藤進氏に「W型問題解決学によるプロセスイノベーション」、四画面思考研究所代表取締役の近藤修司氏に「四画面思考によるマインドイノベーションで未来を創る」という招待講演等をお願いしました。いずれもイノベーションや創造性の哲学と技法を駆使する実践的研究成果です。

　今回の特色は通常の会員による研究発表以外に国際セッションや高校生セッションを設けていることです。国際セッションは国際会議スタイルのセッションです。複数の査読者による査読があり、英語での発表を原則とします。査読結果、プレゼンテーション結果および質疑応答の結果に基づき、Presentation Awardが授与されます。高校性セッションの詳細は

検討中です。また初日に北陸先端科学技術大学院大学が世界に誇るJAISTギャラりー、スーパーコンピューター、ファブラボの見学会を行います。JAISTギャラリーは世界三大パズルコレクションである芦ヶ原伸之氏のパズルコレクションです。また懇親会は泉鏡花ゆかりの北陸有数の温泉旅館「まつさき」で行われます。いずれも学会割引で会員にとってお得な値段になっています。

　以上、会員が年に1回集う研究大会で、会員同士の親交を温める機会でもあります。創造性とイノベーション研究の最前線を学び、次なる両者の発展を図る絶好の機会です。会員・非会員を問わず北陸の「知の梁山泊」に結集し、お互いの知の相互研鑽で共創しましょう。